

謹弔

次の会員がご逝去なさいました。謹んで哀悼の意を表します。

門 屋 昭一郎 氏 山口市医師会 3月22日 享年 97

編 集 後 記

子供の写真・動画撮影って難しいですよ。

決定的瞬間を写真・動画に収めるといのは、ほぼ不可能。

あー今の表情、そして思わず笑わずにはいられないユニークな言葉の数々、マンガみただな、面白すぎる！

「もう一回やって・・・」と言ってもだめです。再現してくれることは絶対にありません。

大人とは違い、全く予兆すらなくその「決定的瞬間」を子供は仕込んできますので、奇跡の瞬間というのは撮れないものなのだ、とそのうちあきらめるようになりました。

そうはいつでも、グレートな写真を残しておきたい！では、どうするか。いつのころからか「馬子にも衣裳」作戦を決行するようになりました。

地元で買える服もいいのですが、ネットで検索してみると、日本で扱ってない海外ブランドには、異次元にかわいい子供服があります。ブランド毎にテイストも全く違い、丹念に探せばわが子にマッチしそうな服が見つかります。そのうち海外の子供服専門店から、個人輸入するようになりました（関税もかかりますが）。ネット販売なので、実際に着せてみないと、購入した時のイメージどおりなのか、体型的にフィットするか、素材感が予想の範疇なのかわかりません。大当たりも大外れもあります。

そして、親が休みの時に行くんです、「じぶんの子供撮影会」に！

撮影は、当然晴れた日を選びます。大量の服の中から、何通りかのベストコーディネートを抽出します。他、持参するのは一眼レフ、複数のレンズ、ストロボ、時に三脚。お菓子、おもちゃ、その他小道具など、子供の表情がゆるむグッズもよく吟味して持っていく必要があります。でなければ、子供はずっと固まったままで、にこりともしてくれません。これらの荷物が実に重いし、かさばる！移動は現地までは車、現地ではベビーカーと両肩に掛けた大きなバック2つに、時として寝ている子供+前述装備品すべてを乗っけて、ロケします。正直ちょっと辛いときもあります。でもそこまで準備して仕上がった写真の中には、親の情熱がプロのカメラマンを凌いだかのような、「えっ、神業？」的な傑作が紛れ込んでいます。

思い出に残っている撮影ベスト3は、

- ①雲一つない超快晴の日が来るのをずう～と待って、3歳の娘を女子御三家（桜蔭・女子学院・雙葉）+東京大学赤門の計4か所を丸1日連れまわして写真を撮ったこと。
 - ②東京都千代田区番町を、3歳の娘とまたまた1日歩き倒して写真を撮りまくったこと。
 - ③瑠璃光寺五重塔（もちろん改修前）を背景に、娘2人を撮りまくったこと。
- です。稀にしか奇跡のショットは撮れませんが、お気に入りの写真は院長室にA3サイズで飾っています。

（理事 藤原 崇）